

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治田原町

プロジェクト名	教育環境充実プロジェクト		実施期間	H23～	テーマ	教育環境充実プロジェクト (町重点施策)	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	宇治田原町の未来を担う担う子どもたちに、自分が生まれ育った郷土に愛着を持ってもらうとともに、地域が直面している現状や課題について、理解し克服する知識を得て、宇治田原町の未来を担う力となってもらい、地域産業の振興や地域活動の強化・活性化につなげていかなければならない。また、地元小学校が人口減少の影響から廃校となり児童生徒が遠距離通学をしなければならない地域が存在する。少子高齢化が進むことが予測される本町においては、子どもを始め、全世代の方がいきいきと生活を送るための（教育）環境を整えることが課題となっている。							
プロジェクトの目的及び概要	宇治田原町の未来を担う担う子どもたちに、自分が生まれ育った郷土に愛着を持ってもらうとともに、地域が直面している現状や課題について、理解し克服する知識の取得を推進するとともに、民間バス路線の廃止及び奥山田小学校の廃校に伴う遠距離通学者のために、スクールバスを運行することで、交通弱者対策を実施。 また宇治田原町において生活をする方が、生きがいをもって生活が送れるように、「いつでも・どこでも・だれもが」学習機会を選択できるよう生涯学習を推進する。							
	総事業費（千円）	33,980	本年度事業費（千円）	33,980	交付金額（千円）	7,732		
プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
	茶の里っ子を育む学習事業	交付事業	「日本緑茶発祥の地」宇治田原町の子どもたちに、お茶等に関する学習（お茶検定・伝統文化体験学習）を継続して実施することにより、宇治田原に誇りと愛着心を持つ子どもを育成。			◆茶検定 3級（4年生） 114名 2級（6年生） 100名 ◆総合的な学習の時間を活用し社会人講師を活用		
	高校生通学費補助	交付事業	鉄軌道がない本町の地理的弱点を克服するため、高校通学に要するバス費用の内、初乗り運賃分を除いた費用について一部助成し、教育世代の保護者負担を軽減し、町への定住化対策等につなげる。			高校等へのバス通学に要する費用の一部を助成することにより、保護者負担の軽減を図るとともに、生徒の就学を支援した。平成23年度には、学期通学定期から、初乗り料金分を控除する調整を行った。 ◆268件 10,258,500円		
	学力充実事業	交付事業	学力診断テストを実施し、児童生徒の学力を把握し、一人ひとりの習熟度に合わせたきめ細かい指導を実施するため、町内各学校に1名の補助教員を配置。			◆補助教員配置 小学校 各1名 ◆勤務状況 田原小学校 227日 宇治田原小学校 212日 ◆学力診断テスト 対象 全学年 実施科目 国語・算数 対象児童数 田原小学校 286名 宇治田原小学校 304名		
	「子ども司書」育成事業	交付事業	小学校の図書委員等が図書の専門的知識を習得し、学校図書室の蔵書の充実と読書に親しみやすい環境創造の担い手となるよう養成。児童一人ひとりへの読書活動の普及及び図書室利用活性化により、国語学習能力の向上を目指す。			子どものうちから読書の習慣を身につけ、読書に親しみ環境を整備するため、学校図書室の蔵書の充実と併せ「こども司書」を養成し、児童一人一人への読書啓発並びに図書室利用のリーダーとして活動するとともに、学習意欲の向上に努めた。 ◆H23こども司書養成課程修了者 55名  【こども司書活動内容】 ・学校図書室での実践 貸出業務・図書分類の仕方についての学習 選書方法等 ・町立図書館での実践体験学習		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治田原町

市町村 実施事業	子どもを育む図書整備事業	交付事業	学校の内外において子どもたちの読書活動を支援するため、蔵書の充実を図る。 ・学校図書館と町立図書館との図書検索・貸出における連携の強化充実	蔵書の充実を図った。 ・学校図書館と町立図書館との図書検索・貸出における連携を強化充実
	中学生ふれあいサポーター配置事業	交付事業	中学校内において、京都府警スクールサポーターと連携し、見守り巡回活動を実施する。	警察の0Bが週4日で1日4時間を基本に、「あいさつ・声かけ」など保護者や先生だけでなく第三者の地域の大人が関わることで、生徒が学校生活をスムーズに送れるようにふれあいサポーターを設置。
	スクールバス運行事業	交付事業	バス路線廃止地域において奥山田小学校が廃校されたことに伴い、児童・生徒の通学手段としてスクールバスを運行する。 ・バス台数：1台	バス路線廃止地域において奥山田小学校が廃校されたことに伴い、児童・生徒の通学手段としてスクールバスを運行。 ・バス台数：1台
	生涯学習推進事業	交付事業	子どもを始め、全ての世代において、様々なことについて学習できる機会を提供し、自分の生きがいつくりや可能性の発見を推進する。 ・歴史教室、人権教育、女性教育、国際交流などの多種多様の講座を開催する。 ・地域と協働し、学社連携事業等を推進する。	◆生涯学習講座「グリーンライフカレッジ」として青少年教育をはじめ家庭教育、成人教育、情報教育など各世代に応じた幅広い分野にわたっての学習機会を提供した。 【受講者数】 グリーンライフカレッジ開講式 (350人) 青少年教育 (延べ509人) 成人教育 (5人) 国際交流 (延べ35人) 家庭教育 (延べ531人) 朗読講座 (延べ30人) その他文化協会と連携した事業など  ◆学社連携事業等活動助成 校区学社連携推進委員会、地域子ども会、地域青少年を守る会、PTA等の学校外体験活動などを行う団体に対し助成を行った。
	高齢者教育事業	交付事業	60歳以上を対象にした、高齢者教育（学習）を開催する。 ・連続講座の開催や社会見学を実施する。	60歳以上を対象にした、高齢者教育（学習）を開催。 ・連続講座の開催や社会見学を実施。
	自主事業開催費	交付事業	記念講演の実施。	「第26回国民文化祭・京都2011」に向け、町主催事業の気運醸成のため記念事業を実施した。
	さざんかホール舞台運用委託費	交付事業	文化・芸術の普及及び振興を図り、文化の香り高い地域づくりを推進するとともに、生涯学習を推進。	文化・芸術の普及及び振興を図り、文化の香り高い地域づくりを推進するとともに、生涯学習を推進。 ・町総合文化センターで文化コンサート等を開催
	小・中学校連携事業	関連事業	町内2小学校と1中学校との間において、相互間授業の実施や交流により義務教育9年間を通して、児童生徒に切れ目ないきめ細かな指導を実施し、教育環境の充実を図る。	◆小中連携・一貫教育推進体制を構築し、部会ごとに研究・実践を行った。 ◆各学校ごとの教職員の交流を行う中で、合唱交流会、小学生駅伝大会の練習指導、音楽専科教員による指導等を行った。 ◆先進地の視察（広島県呉市、滋賀県長浜市）、研修、研究授業・発表会を実施した。

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治田原町

住民協働事業	国際交流事業	交付事業	「緑茶発祥の地」として、「お茶」を架け橋として中国雲南省との国際交流を推進し、将来においては、民間交流団体（友好協会等）の設立を目指す。 ・学校茶園製の新茶を送り、メッセージ・プレゼントの交換（小学校） ・国際交流についての学習事業・啓発事業の実施 ・民間交流団体の育成支援	◆国際交流講座 ・田原小学校 - 5月23日（月）／友好大使＝4名 ・宇治田原小学校 - 5月31日（火）／友好大使＝2名 ◆小学生児童手摘み茶プレゼント 新茶とメッセージを添えて、中国雲南省政府へ贈呈 ○11月17日（木）・雲南省外事弁公室宛てEMS ○新茶約6 <sup>キログラム</sup> 。中国青年国際人材交流中心にも併せて送付	
	子どもを育む読書活動支援事業	交付事業	学校の内外において子どもたちの読書活動を支援するため、蔵書の充実を図り、図書ボランティアを育成し、活動を支援する。	・団体貸出（クラスごと）図書の充実 小学校へ約2,640冊の貸出 ・調べ学習等授業における資料提供・支援 小中学校へ約200冊の貸出。 ・「こども司書」育成プログラムの共同開発及び学校図書館司書への支援 ・「こども司書」図書館体験希望児童の受入及び指導 7/16 4名 7/24 1名 3/4 2名 ・紙芝居用舞台スタンド等、ボランティア活動用具の購入 ・読書意欲の向上のため特集展示等の実施	
住民が取り組む事業					
成果指標①	成果指標の目標数値	生涯学習の推進（参加者の増） 22年度 延べ人数：1,322人		成果指標の実績値 （○年○月○日時点）	参加者延べ人数：1,460人 （平成24年3月31日時点）
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	社会の各分野において生涯学習への関心が高まっており、幅広い分野の講座を開講することで、参加者数の増加に結び付いた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標②	成果指標の目標数値	図書館整備 ・蔵書冊数の充実		成果指標の実績値 （○年○月○日時点）	・団体貸出しによる学校図書館蔵書冊数の増加 ・小学校へ約2,640冊の貸出 ・調べ学習等授業における資料提供・支援 小中学校へ約200冊の貸出。 ・子ども司書育成 7人 （平成24年3月31日時点）
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	図書館から小・中学校へ図書貸出しを行うことで、学校内において充実した図書環境を整えることができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	子どもたちの教育の基礎となる読む力の育成をはじめ、通学に対する支援や住民への生涯学習の推進等の活動が宇治田原全体の教育・文化水準の向上に寄与している。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：宇治田原町

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	
	府と市町村等との連携に資する成果	
	住民の自治意識を高める成果	様々な内容の生涯学習講座を提供することで、住民自らの学習意欲の増進に寄与し、心豊かな生活を送れることが期待されるとともに、生涯学習講座を受講した生徒自らが講師となり住民主体の講座開講が期待させるなど、住民活動の活性化にもつながる。
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	自主公演開催事業において、町広報紙や地元新聞等を通じた宣伝を行うため、本町のみならず近隣市町の住民にも文化・芸術に触れ合う機会を提供することができる。
	行財政改革に資する成果	学校図書室、町立図書館の蔵書貸出し、読書活動の指導の連携を図ることにより、人件費、物件費の縮減につながる。
	その他の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の子どもたちが町の主要産業として深い歴史をもつお茶について学習することで、伝統文化への理解や郷土への愛着を育むことができる。</li> <li>・読書環境の向上を図ることで、生徒の学力向上や健全育成につながる。</li> </ul>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。